

授業科目名・形態	救急医療と看護	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	村川徳昭・成田亜紀子・水木暢子	開講期	4年前期	単位数 1

【授業の主題】

救急医療における看護の役割を理解した上でその実践を学び、急変時の基本的な対応ができる知識を身につける。救急患者の特徴と治療、病院等における救急・急変時の対応と看護、救急医療における多職種連携について学ぶ。

【到達目標】

- 1) 救急・災害時の医療システム、患者の受け入れ状況など医療体制の現状を理解する。
- 2) 救急看護のアセスメントに必要な基礎的な知識を習得する。
- 3) 急変時の対応に関する知識を習得する。
- 4) 救急・急変時の初期対応や応急処置のスキルを習得する。
- 5) プレホスピタルケアの現状を理解する。

【授業計画・内容】

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 第 1 回 | 救急および災害医療と看護総論 (村川) |
| 第 2 回 | 救急・災害医療の諸問題 (村川) |
| 第 3 回 | 災害時における初期治療 (村川) |
| 第 4 回 | CBRNE 災害対策医療 (村川) |
| 第 5 回 | 救急医療施設における看護の実際 (成田救急看護認定看護師) |
| 第 6 回 | Guideline-2015 に基づいた心肺蘇生 (村川) |
| 第 7 回 | プレホスピタルケアと応急処置の実際 (救急救命士) |
| 第 8 回 | 救急・急変時に必要な基本的技術 (演習) (水木) |

【授業実施方法】

おもに講義形式で行うが、一部演習も取り入れる。

【授業準備】

成人看護方法論Ⅱ (クリティカルケア) で学習した内容で、本科目と関連する内容については十分復習し、事前学習として備えること (資料を授業時持参)。又毎回の授業は次回以降の内容と非常に関連しているので、毎回復習し、事前学習が提示された場合には、しっかり予習して授業に臨むこと。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅱ・Ⅲ、成人・老年看護学実習Ⅱ、災害看護学

【教科書等】

特に指定しない。必要時、資料を配布する。

【参考文献】

系統看護学講座別巻 クリティカルケア看護学 医学書院
 系統看護学講座別巻 救急看護学 医学書院
 山内豊明 フィジカルアセスメント 医学書院
 その他の参考図書は随時提示する。

【成績評価方法】

試験 (60%)、演習および事後レポート (20%)、出席状況 (10%)、授業への参加状況 (10%) により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

救急医療に関連したニュースに関心を持ち、問題意識をもって取り組みましょう。

